第２回ＣＥＥシンポジウム

「資源・環境エネルギー問題に貢献する水素戦略と水素エネルギー導入シナリオ」

■　日時：平成 20 年 10 月 17 日（金）　13:00～17:40（受付開始 12:30）
懇親会　17:50～

■　会場：東京大学生産技術研究所コンベンションホール（An 棟 2 階）
東京都目黒区駒場 4-6-1
（http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html）

■　交通：小田急線/千代田線東北沢駅より徒歩 7 分、代々木上原駅より徒歩 12 分
京王井の頭線駒場東大前駅より徒歩 10 分
（http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html）

■　趣旨

二酸化炭素など温室効果ガスが増加し地球温暖化が深刻になる中で、化石燃料に代わるクリーンなエネルギー媒体として水素が注目されている。特に、この水素を用いる燃料電池は燃料電池自動車のみならず家庭用コジェネレーションシステムなど分散型発電として高いエネルギー効率を得られる省エネルギー社会への切り札でもある。しかしながら水素エネルギー社会の確立のためには、燃料電池の技術開発のみならず、水素の貯蔵・供給などのインフラ設備での課題も多い。さらに、化石資源から高効率で水素製造を行なう技術は不可欠であり、また、将来的には太陽光などの自然エネルギーによる水素製造技術の開発は化石資源に頼らない社会システムを構築する上で避けて通れない。

水素エネルギーへの期待はどの先進国においても非常に高い。各国のエネルギーセキュリティを強靭なものにするため石油資源にのみ頼っている現状のエネルギーシステムからの脱却はどの先進国においても重要な課題である。水素はエネルギーキャリアとして様々なエネルギー源をつなぐパイプラインであり、この普及は化石エネルギーから自然エネルギーへの移行を促すものでもある。

そこで東京大学エネルギー工学連携研究センター(CEE)では第２回 CEE シンポジウムとして水素エネルギーに関する講演会を開催する。化石資源からの水素製造の現状から、自然エネルギーによる水素製造技術、水素供給インフラ、燃料電池技術など水素製造から供給インフラ、水素燃料電池技術まで水素エネルギーに関する最先端の情報を提供する。

■　プログラム

13:00-13:10　開会の辞
13:10-13:50　燃料電池及び水素ステーションの導入シナリオと技術開発ロードマップ
　　NEDO 技術開発機構　燃料電池・水素技術開発部　部長　　佐藤　嘉晃
13:50-14:30　低炭素社会構築に向けた取組
　　新日本石油㈱　研究開発企画部　部長　　吉田　正寛
14:30-15:10　水素供給インフラの現状と技術課題
　　エネルギー総合工学研究所
　　プロジェクト試験研究部　副部長　　中村　恒明
15:10-15:30　休憩
15:30-16:10　エネルギーキャリアとしての水素製造技術の現状と課題
　　㈱ルネッサンス・エナジー・リサーチ　代表取締役社長　　岡田　治
16:10-16:50　燃料電池技術の現状と課題
　　東京大学大学院工学系研究科　准教授　　菊地　隆司
16:50-17:30　太陽光を用いる水からの水素製造の現状と展望
　　東京大学大学院工学系研究科　教授　　堂免　一成
17:30-17:40　閉会の辞

懇親会　17:50～　コンベンションホール・ホワイエ

■　参加費：無料、要旨集代：2,000 円、懇親会費：3,000 円
　　（当日、受付にて現金でお支払いください）

■申込方法：氏名、所属、連絡先（住所、電話、ファックス、電子メール）、要旨集購入の有無、懇親会参加の有無を添付ファイルの参加申込書に明記の上、電子メールにてお申し込みください
＊申込締切日：10 月 6 日（月）　申込者数が定員 250 人になり次第申込を締切ます

■お問い合わせ・お申し込み
東京大学エネルギー工学連携研究センター 江頭桂子(えとう けいこ)
電話 03-5452-6899 ファックス 03-5452-6728
電子メール：cee@iis.u-tokyo.ac.jp